

## 春日部地区浦高会の2020年

### ●2001年にスタートした地域同窓会も・・

先週12月12日(土)12時から、久しぶりの「春日部地区浦高会幹事会」でした。大人数で集まるのは2月の「賀詞交歓会」以来で、コロナ第3波で飲食店の時短要請などがある中での会合なので、正午の会議、食事も1時間弱と短くして臨みました。



前列左2人目から三輪顧問、鳥井前副会長、岩寄前監事

今回、私が皆さんで顔を合わせての幹事会にこだわった理由は、①9月に役員が替わり新しい役職で皆さんで会を盛り立てていこうという結束を固めたかったこと、②創立以来20年間、春日部地区浦高会を牽引してくださった根本崇・前会長、鳥井隆一郎・前副会長、岩寄正・前監事への慰労会を行いたいということでした。議題は、来年2月以降の「賀詞交歓会」「小旅行」「ゴルフコンペ」などの開催でしたが、「賀詞交歓会」は中止、「小旅行」や「ゴルフコンペ」については、延期または時期を見て判断するという事で決定し、会員の皆様にご連絡することになりました。

退任された皆さんへの記念品を差し上げ、食事をいただき、役員からの近況報告や今後の抱負などを伺い、短い幹事会を終了しました。



記念のブリザードフラワー

実は、今週10日の夜、浦高同窓会本部の正副会長会議がリモートで行われたのですが、慣れていないせいか、どうもぎこちなく感じていたので、やはり集まるの会議は賛否両論あるものの良かったと思います。

◇ ◇

### ■春日部地区浦高会は20年目で大きな転換点に

昨年9月の総会後の幹事会で20周年記念事業として、①20周年記念誌の作成、②20周年記念総会の企画の2つを計画することになり、昨年10月頃から準備を進めてきました。それと同時に根本崇・前会長(16回)から私に2020年度以降の後任会長の打診などもあり、今年は大きな転換点の年でもありました。

根本前会長から私に春日部地区浦高会の会長職が打診され、副会長以下の人選も任されて副会長3人、監事2人、会計1人、事務局長1人、幹事4人に打診し、2020年9月総会に向けて準備を進めてきました。これまでは創立メンバーがいらした役員会でしたが、今回の人事では創立メンバーは私だけとなり、若干頼りない会長職かも知れませんが、春日部地区浦高会がこれからは活発な活動を続けられるよう、皆さんに協力していただきながら進めていこうと考えています。

こうして準備を進めてきた総会(9月6日予定)でしたが、新型コロナ禍の影響で、初めての書面決議となりました。それでも、全ての議案を承認いただき、20年目のスタートを無事に切ることができました。

★「効率よく密度の濃い時間を過ごす」2/13、喫茶去 338  
《以下、夏炉冬扇は「No.4 桁」、喫茶去は「3 桁」で表示》

### ■創立20周年記念誌『喫茶去 特別編』発行

今年の9月総会の目玉は、会長交代による役員人事と20年目の記念公演としてベルリン在住のオーボエ奏者・渡辺克也さん(37回)をお招きした記念コンサート、記念誌の発行を企画していたのですが、残念ながら記念コンサートは延期となり、記念誌は郵送で送らせていただくことになり、会員や同窓会関係者123名の方々に送らせていただきました。

この記念誌の発行に向けては、鳥井隆一郎さん(11回)、竹内透さん(44回)、林亮平(52回)と私の4人で編集委員を仰せつかり作業を進めました。昨年10月に編集委員でスケジュールを決め、会員に打診しましたが、本格的な作業や原稿集めは今年1月以降でした。

#### 【作成スケジュール】

- ◇ 9月 総会にて承認済み、編集委員：4人
- ◇ 10月 編集委員にての企画会議
- ◇ 11月 原稿募集(締切：3月末)
- ◇ 12月 幹事会にて経過報告
- ◇ 1月 座談会
- ◇ 2月 賀詞交歓会にて再度の原稿募集
- ◇ 3月～5月 原稿のベタ打ち
- ◇ 6月 文字入力業者へデータ渡し
- ◇ 7月 印刷所への原稿渡し、校正
- ◇ 8月 印刷
- ◇ 9月6日 20周年記念総会にて配布

★「いよいよ20年を振り返る準備が！」1/20、No.5017

◇ ◇

### ■20年を振り返って/座談会

2月2日(日)の「賀詞交歓会」を前にして、設立当初を知る歴代の正副会長、監事の方々にお集まりいただき「座談会」を開催しました。座談会で皆さんに振り返っていただくために、この20年間の資料を作成しました。私も「春日部地区浦高会」の設立に関わり始めたのが、2代目会長の三輪昭彦さん(16回)にお声かけいただいた2001年早春で46歳のときでした。

## ■春日部地区浦高会の20年振り返り資料

### 1. 石井会長の時代(2001年度~2004年度)

◆総会、賀詞交歓会、ゴルフコンペでの会員間の親睦を築いた時代

### 2. 三輪会長の時代(2005年度~2015年度)

◆前半は会員間の親睦と絆を強くしていくための活動を始めた時代

- ・2005年度：2月鬼怒川一泊旅行、
- ・2006年度：5月初夏の春日部・野田名所めぐり
- ・2007年度：9月渡辺克也氏オーボエ演奏会
- ・2008年度：6月枝豆旬宴会
- ・2009年度：10月坂東の旅、5月東京川「クルーズ」

◆後半の地域貢献活動に取り組み始めた時代

- ・2010年度：9月記念講演、10月麗しの杜植樹祭
- ・2011年度：2月野鳥観察会、4月東京川「クルーズ」

◆久喜麗和会との合同小旅行を始めた時代

- ・2012年度：4月久喜麗和会合同「川越の旅」
- ・2013年度：3月久喜麗和会合同「古河の旅」

◆15周年「音楽の都ウィーンからの贈り物」事業

- ・2014年度：10月チャペルコンサート、6月「第1回 音楽の都ウィーンからの贈り物コンサート」
- ・2015年度：10月富田氏学校への出張講座、4月久喜麗和会合同「野田の旅」

◆若手幹事の活用

- ・2015年の「第7回 地域職域同窓会責任者会議」において春日部地区浦高会総会の活動を報告

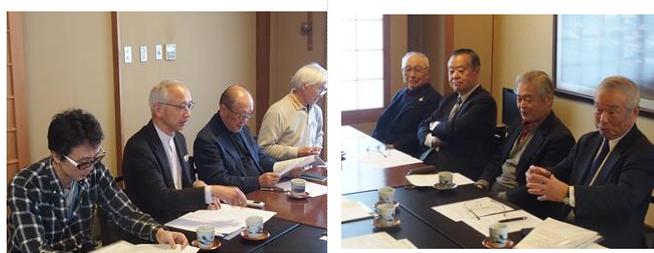
### 3. 根本会長の時代(2016年度~2019年度)

◆15周年「音楽の都ウィーンからの贈り物」事業

- ・2016年度：10月「第2回音楽の都ウィーンからの贈り物コンサート」、出張講座、4月「久喜の旅」
- ・2017年度：10月「第3回 音楽の都ウィーンからの贈り物コンサート」、出張講座、5月「このとりの郷・野田の旅」
- ・2018年度：9月「第4回 音楽の都ウィーンからの贈り物 in 野田コンサート」、5月「春日部の旅」
- ・2019年度：10月富田氏出張講座、5月「閑宿の旅」

【年度は9月~翌年8月までです】

座談会では話が弾み予定の2時間があったと言う間に過ぎてしまいました。



座談会で皆様からお話いただいた内容を次のような小見出しでまとめさせていただき、記念誌に掲載することができました。若手で編集委員を務めてくれた竹内さんや林さんにとっては、たぶん初めて聞く内容が多かったことと思いますが、将来の春日部地区浦高会にとっても大きな財産になりました。

## 【座談会】春日部地区浦高会の誕生

### そして二〇年を振り返って

- ◇ 春日部地区浦高会の誕生秘話
- ◇ 春日部地区浦高会のエリア取りの工夫
- ◇ 春日部地区浦高会が設立されて
- ◇ 春日部地区浦高会の歩みを振り返って
  1. 会員間の親睦を図った石井会長時代
  2. 会員の親睦と絆を深めていった三輪会長時代
  3. 地域貢献活動に取り組み始めた時代
  4. 久喜麗和会との合同旅行を始めた時代
  5. 創立十五周年記念事業へ向かって
  6. 更なる地域貢献と発展の根本会長時代
- ◇ これからの春日部地区浦高会へ

【B5判で12ページ、11,500字弱】

★「いよいよ20年を振り返る準備が！」1/20、喫茶去 338

★「20年間を振り返るとアツという間」2/3、喫茶去 334

◇ ◇

## ■今年唯一の顔合わせが「賀詞交歓会」

今年唯一、会員の皆様とお目にかかれた会が2月2日の「賀詞交歓会」でした。会員スピーチでは、会員で公認会計士の池田博行さん(44回)から「公認会計士の仕事と税金の話」をいただき、勉強させていただきました。懇親会では、2回の大島齋礼さんをはじめ多くの会員から近況報告などを伺い、最後は岩本利夫さん(22回)の「秋田大黒舞」で賑やかに締めました。



★「公認会計士による税金のお話！」2/3、喫茶去 335

★「目出度い！皆様おめでとうで繁盛！」2/3、喫茶去 336

◇ ◇

## ■会員のみなさんからの原稿を集めて

2月2日の「賀詞交歓会」を終えてから、会員の皆様からの原稿が届くようになりました。野辺博・同窓会新会長(24回)と、創立15周年事業「音楽の都ウィーンからの贈り物」でお世話になったウィーン在住の声楽家・富田千種さん(19回)お二人からの祝辞もいただくことが出来、表紙を飾る写真も会員の写真家・大島齋礼さん(2回)から頂戴し、タイトルも鳥井さんからの提案で、20年間会報のタイトルで使ってきた『喫茶去(きっさこ) 特別編』で会長の了解をいただいて決まり、29名の寄稿文が揃ったのが5月末でした。

この時に、鳥井さんから「香田さん、本づくりで大切なのはこれからですよ！」と言われたのですが、その時には意味が分からずにいました。しかし、文字校正や印刷校正などでバタバタとする日が続き、見落としの多さにかぐ然としました。誤字脱字は少なかったものの、会員の名前や卒業回数など……、鳥井さんからのアドバイスはこれだったのかと気づかされました。



それでも、文字入力など編集協力の西武写真印刷(株)や印刷・製本の関東図書(株)の協力をいただき、9月6日には無事に「春日部地区浦高会・創立20周年記念誌『喫茶去 特別編』」を発行することができました。

それでも、文字入力など編集協力の西武写真印刷(株)や印刷・製本の関東図書(株)の協力をいただき、9月6日には無事に「春日部地区浦高会・創立20周年記念誌『喫茶去 特別編』」を発行することができました。

### ■創立20周年記念誌『喫茶去 特別編』(執筆者)

- ・我が青春、思い出の浦中時代 石井 治(中48)
- ・今の私 大島 斎礼(高2)
- ・今語り遺しておくこと 清水 三郎(高4)
- ・浦高生の私 野本 光好(高8)
- ・「被害者学」に没頭して 清水 幹夫(高9)
- ・浦高時代を振り返る +α  
～あんなことやこんなことが 岡野 浩(高10)
- ・ゴルフ随想 岩崎 正(高11)
- ・八〇の手習い 小澤 重二(高11)
- ・疎開、そして埼玉に暮らして 鳥井隆一郎(高11)
- ・春日部地区浦高会 発足二〇年を迎えて 長岡 成郎(高11)
- ・電車通学の思い出 今成 英明(高12)
- ・春日部地区浦高会二十周年に寄せて 石塚 勝巳(高13)
- ・春日部地区浦高会徒然 石塚 善幸(高13)
- ・陶芸への道 松本 伸一(高13)
- ・親睦と地域貢献を継続して 三輪 昭彦(高15)
- ・「遠き灯」の話 石田 知己(高16)
- ・二〇年前の初心に戻って 田村 友彦(高16)
- ・私にとって同窓会活動とは 根本 崇(高16)
- ・激動する世界を旅して 八木 晃一(高16)
- ・高校時代の思い出 三村 輝明(高20)
- ・今の私の生活スタイル 岩本 利夫(高22)
- ・会報『喫茶去』を綴り続けて 香田 寛美(高25)
- ・同窓会活動と私 鈴木 剛(高28)
- ・二度の浦高生活を楽しんで 由木 智(高36)
- ・浦高時代に培った仕切る力 竹内 透(高44)
- ・高校時代を振り返りつつ 森岡洋一郎(高45)
- ・春日部地区浦高会との出会い 伊藤 貴成(高47)
- ・私の二〇年と春日部地区浦高会 岡田 務(高48)
- ・仕事の楽しさとは何か 林 亮平(高52)
- ・二〇年前の出会いと現在の私 渡邊 隼人(高54)
- 【追悼文】仙龍と私 ～追悼 仙龍のおばちゃん～ 伊藤 貴成(高47) [敬称略]

編集後記では、さまざまな方への感謝の気持ちを表しました。

### ◆編集後記

春日部地区浦高会 創立二十周年記念誌「喫茶去 特別編」の作成にあたり、浦高同窓会会長の野辺博様(高24回)、ウィーン在住の音楽家の富田千種様(高19回)、そして29名の会員の皆様には快く原稿を執筆して頂きありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、本誌のタイトル『喫茶去』は、当会の広報としてこれまで340号余を綴ってきた会報のタイトルです。当会にお越しくださった皆様にご一杯の茶、一献のお酒とともに私たちのお話で楽しんで頂きたいという気持ちから命名したものです。当会も20年を迎え、本誌では創立以来の20年間の記録を綴るとともに、会員各位の浦高時代の思い出、半生記、春日部地区浦高会と歩んだ20年などさまざまなテーマで記録を残すことができ編集委員一同ホッとしているところです。

表紙は、写真もプロ級の腕前である会員の大島斎礼さん(高2回)にお願いし、この地域らしい一枚を頂戴しました。大島さんからは「埼玉県と千葉県の間を流れる江戸川の堤下から雲を狙って撮りました。雲の美しさを感じて頂ければ幸いです」とコメントを頂きましたが、大地に根を張り寄り添い合う二本の木は私たち同窓生の集まりのように大きく枝葉を伸ばし、広き宇内を見上げているような気がします。そして、移りゆく雲と川面に20年という時の流れを感じました。これからも、春日部地区浦高会が大きく広がる青空のように発展することを祈念しております。

最後になりましたが、快く印刷をお引き受け頂いた関東図書株式会社の岩淵均様(高18回)、編集をお手伝い頂いた西武写真印刷株式会社の山崎美雪様にお礼を申し上げます。



3月16日には「仙龍」が焼失し、店主の伊藤みや子さんが逝去され、伊藤貴成君に追悼文をお願いしました。

- ★「仙龍と私～追悼 仙龍のおばちゃん～」3/20、喫茶去 339
- ★「感染予防のための新しい生活様式」5/28、No.5169
- ★「記念誌、他人史、本づくりに…！」6/21、喫茶去 343
- ★「書面決議の総会を終え20年目へ」9/6、喫茶去 347
- ★「地域同窓会の歴史を残すために！」9/11、喫茶去 348



## ■社団法人となった浦高同窓会

浦高同窓会にとって今年は大変な変化の年でもありました。ここ数年準備を重ねてきた「浦高同窓会の一般社団法人化」に向けて会員総会で定款の議決をもらうことが第1関門で、その後、登記などを経て社員による設立総会を開催するところまでが山場でした。

1月18日(土)には「常任理事会」があり、役員改正案と定款の修正などが報告・承認されました。

2月8日(土)には、「地域職域同窓会責任者会議」があり、22の地域職域同窓会の活動報告などが行われ、終了後の懇親会では和やかな時間が流れました。

4月19日(日)の「常任理事会」と「理事会」は書面決議となり、総会の開催や議題などが承認されました。

6月7日(日)には、さいたま新都心のブリランテ武蔵野を会場にして「令和2年度総会」が開催され、野辺博新会長をはじめとした役員の変更と、「一般社団法人埼玉県立浦和高等学校同窓会の定款」が議決され、任意団体から法人に踏み出す準備が整いました。私もこの日から同窓会副会長(5人の中の1人)として新たな気持ちで「浦高さん」になることを決めました。

6月7日(日)の総会終了後に設立時社員にて設立準備会を開催し、6月17日(水)には公証人役場にて定款の認証をいただき、6月18日(木)には設立時社員総会、7月1日(水)に埼玉地方法務局で法人登記を行うことができました。7月11日(土)には正副会長会議、8月1日(土)に第1回社員総会を開催して、いよいよ法人としての活動がスタートしました。事務局の藤野龍宏・事務局次長(22回)と篠田雅彦・事務局長(32回)には本当にお疲れ様でした。藤野さんがいなければ、これだけの短期間でスムーズに社員総会までの段取りができなかったと思います。

★「新しい時代に向けての同窓会始動！」1/19、喫茶去 332

★「22地域職域の同窓生が集まって」2/8、喫茶去 337

★「来週は「浦高同窓会R2年度総会」」5/31、喫茶去 341

★「浦高同窓会総会、浦高さん達と！」6/7、喫茶去 342

★「一般社団法人・浦高同窓会の社員総会」8/1、喫茶去 345



## ■番外編・盛り上がった浦高の話

今年は何と言っても、正月の花園で始まり、11月の100回記念大会準決勝での敗退とラグビー部の話題で持ちきりでしたが、それ以外にもテレビや新聞等で「浦高」「浦高生」「OB」の話題が登場しました。

### ◆クラフトビールに取り組んで

7月25日(土)の「人生の楽園」では、菊地俊秀さん(27回)がさいたま市の氷川参道で始めたクラフトビールの店「氷川ブルワリー」が取り上げられました。



★「クラフトビールでまちを元気に！」7/22、No.5226

### ◆無骨すぎる浦高が取り上げられて

8月16日(日)にはBSテレビ東京の「THE 名門校」で浦高が取り上げられて、タケカワユキヒデさん(23回)の思い出が面白く放映されました。「古河マラ」「修学旅行」…とちょっとタケカワさんは無頼派すぎるのでないでしょうか…。



★「無骨すぎる浦高伝説」に期待して」8/10、No.5248

★「私たちが過ごして来た日々を…！」8/13、喫茶去 346

★「能の稽古に昔の授業を思い出して」8/26、No.5269

### ◆高校野球県大会で、東大王でも盛り上がり…

4月に花見ができない中で、関西浦高会から「リモートお花見」のお便りをいただき、同期25期会の間では「桜フリークおじさんの桜談義」で暫く盛り上がりしました。同期会は2月17日(月)に開催できたものの、その後はメールだけのつながりとなっています。

6月には「音楽の都ウィーンからの贈り物」に出演いただいたピアニストの追川礼章さん(64回)が「題名のない音楽会」で演奏され、楽しませていただきました。

現役生の活躍については、8月序盤は高校野球埼玉大会で盛り上がり、東大王で盛り上がりました。コロナ禍で苦戦する合唱部の様子も伝わってきました。それでも嬉しかったのは、11月1日(日)に開催された「古河マラ」で、実現に至るまでの水石校長をはじめ教員、保護者の皆さんのご苦勞に感謝でした。

★「新しいことへのチャレンジチャンス」4/22、喫茶去 340

★「追川氏の演奏がTVで楽しめます！」6/26、喫茶去 344

★「浦高伝統の古河マラが開催されて」11/2、喫茶去 349

### ◆作家・佐藤優さん、Jリーグチェアマン・村井満さん

Jリーグチェアマンの村井満さん(30回)を今年は何度か雑誌やテレビで拝見しました。7月17日にはBS11の「インサイド OUT 特別編 リベラルタイム」で「Jリーグの積極果敢な挑戦」で高校時代のお話も伺うことができました。



9月3日の早朝は、佐藤優さんが「ラジオ深夜便」に登場され、高校1年で東欧旅行に出られ、神学を学び、外交官に進んだ話をされていました。そして60歳からの人生戦略を語られました。



★「日本から世界に選手を輩出する！」7/19、No.5223

★「佐藤優氏の人生と還暦以降の戦略」9/3、No.5281



### ■同窓会副会長の初仕事

さて、同窓会副会長としての初仕事は、11月15日(日)の「百年の森/間伐」での最後の挨拶でしたが、これからも元気に「浦高さん」で！



★「天候に恵まれ少人数での森活動！」11/15、喫茶去 350